



# 一歩

社会福祉法人アルカディア 令和5年12月発行 第61号

## ～タバコで考えてみる喫煙者と非喫煙者の価値観の違い～

タバコの値段が上がり続ける昨今。喫煙者は減ったであろうが、値段が上がっても変わらずに喫煙を続けているものも少なくない。

タバコの魅力？または依存なのか。両者の立場で価値観は大きく変わってくるものだと思う。喫煙者・非喫煙者の両者にタバコへの想いを語ってもらい、両面からの切り口で、タバコを題材に、価値観について今一度考えてみる。

### 喫煙者インタビュー

#### グループホーム利用者インタビュー



○70代男性

タバコを吸う理由は、リラックスや気分転換。時間を持て余した時など。タバコを吸うようになってから50年以上経っているが吸うきっかけになったのは「自分も大人の仲間入りがしたかった」というもの。

今では1箱500円以上の贅沢品になってしまったが、吸う量を調整して財布のダメージを小さくしている。吸わなければいけないものではないが、いざ外出する時はタバコを忘れないようにしている。吸わないと居ても立っても居られないわけではなく、精神的に。依存しているわけではない。季節の移り変わりや、風景などタバコを吸いながら眺めている時間はとてもいい時間で好きだ。

○50代男性

自分にとってタバコは「安定するもの」。タバコと薬とで安定に繋がる。夜タバコを吸うことで、気持ちが切り替わり睡眠の安定に繋がる。なくてはならないもの、コミュニケーションの一環なのでやめずに続けていきたい。



### はばたきインタビュー

○50代女性

タバコを吸っている理由は特別ない。特別ないけど、寂しいときに吸うことが多いかもしれない。タバコをやめればスマホが契約できるから、どうにかやめたいと思うんだけどなかなかやめられない。タバコがおいしいと思う時はない。

○50代男性

タバコを吸っている理由はない。今は430円のを吸っているが、2000円になったらやめる。まあやめないと思うけど。タバコを吸っているいいところは、喫煙者がタバコを持っていない時にちょうどいと言われてたりして話をするきっかけになる。今は節約をしている人の前で吸うのは悪いから、コンビニに行って吸っている。

## 麦の家 インタビュー

禁煙成功した男性に〈タバコの価値観〉について伺った。

タバコは、本当に悩ましい存在。嫌でやめたのではなく、健康を考えてやめた。「吸っていたので、吸っている人の気持ちもわかる。リフレッシュになるし、ストレス緩和。だから吸っている人の気持ちがよくわかる。吸ったことない人の立場では考えられない。だが、嫌煙家がタバコ臭いの嫌いな気持ちもはすごくわかる。自室で吸っていたが、臭いがあるだけで嫌な気持ちになったのもきっかけ」

悪いものだが、悪いものではない。医師はやめろというがやめられない。

やめた方が良いけど、強要はできない。大切なもの、時間だと知っているから。

両者の気持ちが分かるからこそ、煙草は本人にとって特別な存在のようだ。止めた今でも価値があると考えているのは新鮮であり、語られた場面は非常に印象的だった。

## 非喫煙者インタビュー

○喫煙経験あり

勧められて1回吸ったけど、全然おいしくなかった。食べ物のほうがいい。

○喫煙経験あり

昔はヘビースモーカーだったが、内科的に体調を崩しタバコをきちんと啜えられず、喫煙しなくなった。そうしてそのまま回復した後も禁煙が続いている。昔は沢山吸っていたが、今思い返せば吸いたいと思うことが苦しかった。

○喫煙経験あり

同居人がせき込むことが多く禁煙に取り組んだ。結果的に自分のためにもなった。

○喫煙経験なし

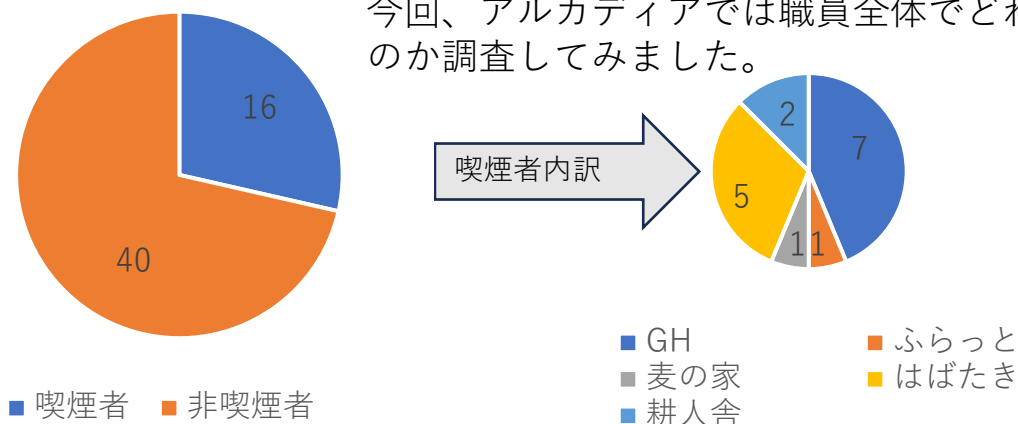
タバコの臭いは離れていてもわかる。服に臭いがつくのは困るし、離れた場所で吸ってほしい。



## アルカディア職員喫煙率調査



今回、アルカディアでは職員全体でどれだけ喫煙者がいるのか調査してみました。



アルカディアでは56人中16人と約3割が喫煙者であることがわかりました。

筆者が法人に入職した時、職員の喫煙率は非常に高く、喫煙所も玄関前は当たり前。利用者の方々にも喫煙者は大変多かったと記憶しております。2020年4月より健康増進法改正が決まり、2019年7月より病院や学校では敷地内禁煙。追い風のようにタバコ増税もあり、禁煙された方が増えたのかも知れません。

既に全施設、建物内禁煙や分煙整備はされており吸う方・吸わない方のお互いへの配慮はされております。



# 耕人舎スタッフの煙草への想い

昨今のタバコに関する増税などによる価格の上昇は続いています。その中で今も喫煙を続けている愛煙家の一人として少しお話をさせていただきます。

さて、喫煙者と言うと皆さんはどんな風に感じられますか？私が非喫煙者であれば、タバコの煙が臭い、副流煙の体への悪影響、受動喫煙につながる、肺がんリスクがあるなどの心配をしていることでしょう。確かに健康的な生活の中で体に害を及ぼす可能性は否定できません。

ですが、愛煙家としての考えとしては、タバコの匂いが落ち着く、喫煙場所での喫煙による非喫煙者への配慮、一息つくことで思考をまとめる時間、同愛煙家とのコミュニケーションなどがあり、タバコ税の納税者などデメリットも踏まえた上でメリットを考えてしまいます。

特に今の私には思考をまとめることに一役かっていることは事実です。世間話などの他愛もない会話を持つことに役立ったり、タバコの銘柄などから趣味などの話題に発展することもよくありました。

吸わないでいられればそれはそれで良いとは思いますが、喫煙から関係を構築できる場合も少なくはないということが今も吸い続けている理由ですが、タバコの匂いと吸った時の味が好きで止められないということもまた、理由の1つです。

そんな私でも過去に喫煙を止めようと思って禁煙を試みたことがありましたが、私には確固たる意志が足りず、二日と持たずして断念をした経験があります。愛煙家として喫煙場所での喫煙行為や外での喫煙行為では基本的に携帯灰皿も持っており、吸い殻のポイ捨てなどをしないよう徹底しています。

また、愛煙家として認められない行為としてポイ捨てをする方が少なからずいらっしゃいますが、私の子供が通学する道路などは吸い殻を見つけると拾うようにしています。

今後も子供たちに悪い影響や間違った認識をされないような行動として続けていくつもりです。なので、私はまだまだ愛煙家としてあり続けます。

これからもタバコに掛かる税金をしっかりと納税していきます。世の中へのお願いを出来るとしたら、私は少しでもいいので愛煙家のタバコを吸う場所、喫煙所を増やしてもらえるとありがたいと考えています。

どうぞ非喫煙者の方々、愛煙家もいることを忘れずに、少しの配慮をいただけるとお互いの関係も良いものとなっていくと思います。

最後に身勝手な愛煙家からの小さなお願いでした。



## 《編集後記》

タバコを題材に、喫煙する者としらない者の考え方の違いに触れてみました。

『煙慮』という造語が他県で生まれたようです。喫煙する際は、喫煙しない方の気持ちを考えて配慮することを意味する言葉のようです。

吸う者は吸わない者の・吸わない者は吸う者の気持ちを汲み、互いに不快を与えない配慮が

本当に大切であり、小さな配慮から、互いの心地よさを生み出すことが出来る。それは喫煙に限った話ではないのではと考えさせられる回となりました。

【編集委員会】



# ★部署紹介と利用者さん募集の案内★

## 援護寮はばたき



外出レクや、その月に合わせたプログラム（初詣、花火会、味覚狩り🍊）などを行っています。利用者さんを募集していますので、気軽にお問い合わせください。見学も大歓迎です(˘˘)/  
☎ 0270-63-1860

## 就労継続支援B型事業所 麦の家



麦の家では、キッチン作業（自主製品）・内職作業（業者委託）を行っています。

主にパウンドケーキやクッキーを作り、外部のイベントや保育園などで販売しています。ほかにも車部品の袋入れ、農業部品の袋入れ・梱包、ネジの組み立て・梱包など、さまざまな作業を行っています！

麦の家に通所してみたい・見学してみたい方はお気軽にお問い合わせください。また、お菓子購入のお問い合わせも随時承っております🍪

☎：0276-25-5417 FAX：0276-25-6591



グループホームのInstagramです😊  
手作りご飯の内容や、イベントが載っています！ぜひご覧ください☆



麦の家のInstagramです😊  
お菓子の新作情報や出店イベントの告知が載っています！ぜひご覧ください☆

法人本部：群馬県太田市鶴生田町733-123  
TEL：0276-20-2509 FAX：0276-20-2510  
ホームページ：<http://arcadia-gr.com/>

